



F u - Z i n

第50号
平成31年3月発行



報告

第17回博多のおいしゃんと歩こう
追い山笠コース探訪

報告

第18回
あつまれ楽文コンテスト表彰式

報告
第39回 NPO博多の風フォーラム
「タイも注目する福岡（九州）を
もつと元気にしよう」

近年の活動

※設立からの詳細はホームページをご参照ください

<http://hakatanokaze.jp>

平成29年

- 4月 第38回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:平井 彰(NPO博多の風副理事長・事務局長)
(一社 九州経済連合会 常務理事 事務局長)
6月 第16回 追山コース探訪 開催
第17回 楽文コンテスト 開催
11月 第17回 楽文コンテスト表彰式 開催

平成30年

- 5月 第39回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:前田 恒明(住友商事九州株式会社 取締役社長)
6月 第17回 追山コース探訪 開催
第18回 楽文コンテスト 開催
11月 第18回 楽文コンテスト表彰式 開催

NPO特定非営利活動法人



〒812-0027
福岡市博多区下川端町8-16-302
FAX 092-263-7188

E-Mail info@hakatanokaze.jp
URL <http://hakatanokaze.jp>

NPO博多の風の歩み

- 設立
平成10年 9月
任意団体『博多の風』設立 代表:大庭宗一
■NPO登記
平成12年 6月
『NPO博多の風』として登記 理事長:大庭宗一

NPO博多の風事業概要

- 啓発事業
・博多の風フォーラム開催
・広報誌・HP発行
・毎日新聞世論フォーラム公聴
・作文コンクール(楽文コンテスト)開催
■地域環境向上事業
・博多の町親交
(清掃活動クリーン作戦・冷泉小学校跡地提言・山笠文化継承)
■活性化事業
・書籍出版
・博多祇園山笠の振興
・追山コース探訪開催
■協力事業
・各市民団体との情報交換及び支援

題字:新井光守



昨年6月3日に17回目となる追い山笠コース探訪を

開催。新聞での案内やホームページへの掲載、そして情報番組を通じて広く参加を呼びかけました。

おいしゃんと博多を歩く。



報告 第18回 楽文コンテスト表彰式

会場 博多小学校 表現の舞台

平成30年11月18日(日)開催

7月から9月の募集期間に、福岡市内外の小中学校から約1500通の応募があった18回目の楽文コンテスト。すべての作品に目を通し、1次選考から4次選考を経て、博多の風の執行部や後援協賛いただいた企業・団体の方にも協力頂きながら、作品を選ばせていただきました。家族や友達のこと、お祭りや夢中になっていることなど、「君が大好きなこと」について書いた作品で、子供らしい活き活きとした作文や、大人では気付かない視点での文章など、読み応えのある作品がそろっています。11月18日に開催された表彰式では、優秀作品の表彰と、各賞代表の方の作品発表を行いました。

選考期間 3ヶ月	応募校数 48校	応募作品数 約1,500通
のべ選考員数 30人	協賛・協力 19社	



⑥ごんどう通り



⑤聖福寺



④東長寺



戸谷署長



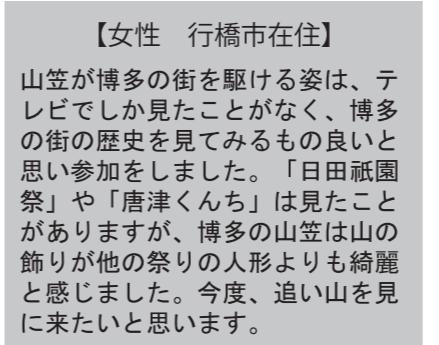
③櫛田神社



②山留め



①冷泉公園

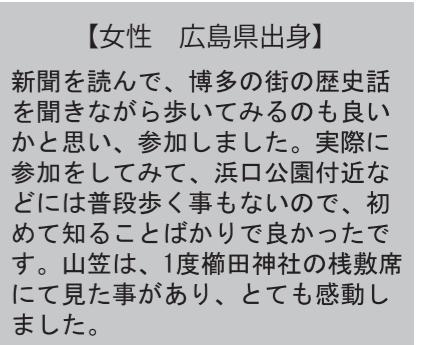


【女性 行橋市在住】

山笠が博多の街を駆ける姿は、テレビでしか見たことがなく、博多の街の歴史を見てみるもの良いと思い参加をしました。「日田祇園祭」や「唐津くんち」は見たことがあります、博多の山笠は山の飾りが他の祭りの人形よりも綺麗と感じました。今度、追い山を見に来たいと思います。



⑦沖濱稻荷神社

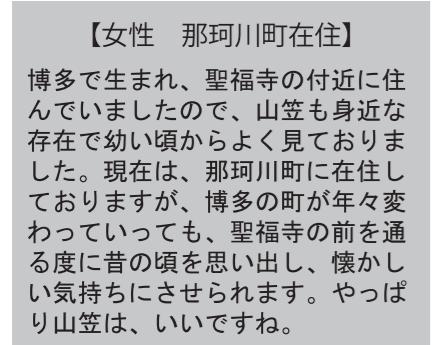


【女性 広島県出身】

新聞を読んで、博多の街の歴史話を聞きながら歩いてみるのも良いかと思い、参加しました。実際に参加をしてみて、浜口公園付近などには普段歩く事ないので、初めて知ることばかりで良かったです。山笠は、一度櫛田神社の桟敷席にて見た事があり、とても感動しました。



⑧15日廻り止め



【女性 那珂川町在住】

博多で生まれ、聖福寺の付近に住んでいましたので、山笠も身近な存在で幼い頃からよく見ておりました。現在は、那珂川町に在住しておりますが、博多の町が年々変わっていて、聖福寺の前を通る度に昔の頃を思い出し、懐かしい気持ちにさせられます。やっぱり山笠は、いいですね。

平成31年度体制	
◎理事長	大庭 宗一
◎副理事長	因幡 敏幸
◎理事	大庭 信雄 松本 昭久 野田 輝幸 野中 雅治 村岡 昌哉 中田 修 中川原謙二 山口 覚弘
◎監事	金子 俊明 板谷 益男 後郷 光信
◎顧問	太田 勇之助 福田 一男 平井 彰



報告

平成三十一年度
NPO博多の風 総会

平成31年2月16日(土)開催

各担当理事および幹事の出席のもと、野中理事の司会で開催されました。「平成30年度事業報告・決算・監査報告」および「平成31年度事業計画・予算審議」、「役員人事」について審議を行い、全ての議案について承認されました。

■理事長より

博多の風を作った理由は、山笠に参加する人や力が少しでも他人の役に立てるようというところから。博多の風の活動は、フォーラム、コース探訪、楽文と3つの柱で行っているが、この活動が少しずつ認知され、博多の人や各機関からも認められるようになってきた。あらためて続けていくことの大切さを感じている。

大庭宗一の大人気エッセイ
シリーズ第10弾 好評発売中

熱いメッセージがいっぱい
詰まったエッセイ集です
定価600円(税込み)

ホームページからも購入できます。

URL <http://hakatanokaze.jp>

賛助会員募集中

我々「NPO博多の風」の主旨をご理解いただき、活動に賛同いただける方を広く募集しています。お近くの博多の風の幹事か下記までご連絡ください。

一般会員

一口 1,000円(年間)

特別・法人会員

一口 10,000円(年間)

(一口以上、何口でもお申込みいただけます。)

お問合せ先

「NPO博多の風」広報企画(担当:山口)
E-mail info@hakatanokaze.jp
FAX 092-263-7188

（大浦 晴彦）

「明日への一言。10」の書影

本書は、大庭宗一による10回分のエッセイ集で、毎回1つのテーマで書かれています。内容は、地域社会の活性化、文化保存、環境問題など多岐にわたります。また、著者の経験や感想が豊富で、読むだけではなく、多くの学びや気づきを得ることができます。ぜひご一読ください。



幹事紹介
今長谷創太さん(30歳)
NPO博多の風 広報事業担当
■職業:会社員
■土居流 川口町

■山笠との出会い
私は大学時代、学生相撲をやっていました。中学は帰宅部でしたが、大学では縁あって相撲を始めたところになりました。相撲の稽古を行っていた社会人の方が土居流川口町で若手頭をされており、この方がきっかけで山笠に参加することとなりました。私が参加始めたのが二十歳の時からです。昨年は10回目の山笠でした。

大学を卒業した後、東京に本社を置く石油掘削の会社に就職しました。石油掘削という仕事柄、海外での仕事がほとんどでしたが、何とか休暇をもらい、7月の山笠への参加を続けてきました。そんな中、山笠にまつと貢献したいとの思いで3年前に福岡の企業に転職しました。山笠を始めた当初、赤手拭は雲の上のような役職でした。

川口町では、一昨年より赤手拭をいたしました。山笠の上昇するように、だんだんと自分の成長を感じます。山笠に精進したいと考えています。

■追い山笠コース探訪について
初めて山笠に参加させてもらった平成21年から追い山笠コース探訪のお手伝いをさせてもらっています。私は若手のころから、この幹事会に手伝いとして参加させていただいています。この中で、先輩方にに対する使い方や、動き方に対する意識は乏しく、先輩方の説明で勉強させてもらう立場でした。山笠に参加し始めたとき、山笠や博多の街への知識は乏しく、先輩方の説明で勉強させてもらう立場でした。山笠に参加し始めた4~5年の頃は、山笠の昇手として自分が付く一番棒の話や道中の出来事の説明が、全く理解できませんでしたが、歴史のことに興味をもつて勉強し、一昨年から

もつと山笠に対する理解が深まっています。この幹事会には、毎月1回、幹事会を行っています。私は若手のころから、この幹事会に手伝いとして参加させていただいている間に、山笠コース探訪のお手伝いをさせてもらっています。この中で、先輩方にに対する使い方や、動き方に対する意識は乏しく、先輩方の説明で勉強させてもらう立場でした。山笠に参加し始めた4~5年の頃は、山笠の昇手として自分が付く一番棒の話や道中の出来事の説明が、全く理解できませんでしたが、歴史のことに興味をもつて勉強し、一昨年から

■幹事会について
NPO博多の風では、毎月1回、幹事会を行っています。私は若手のころから、この幹事会に手伝いとして参加させていただいている間に、山笠コース探訪のお手伝いをさせてもらっています。この中で、先輩方にに対する使い方や、動き方に対する意識は乏しく、先輩方の説明で勉強させてもらう立場でした。山笠に参加し始めた4~5年の頃は、山笠の昇手として自分が付く一番棒の話や道中の出来事の説明が、全く理解できませんでしたが、歴史のことに興味をもつて勉強し、一昨年から

■最後に
もともと地域の行事であつた山笠に対して私のように守つていくということは、ひとえにこれまでの先輩方の努力のためです。私は若手のころから、この幹事会に手伝いとして参加させていただいている間に、山笠を778年続けられます。この中で、先輩方にに対する使い方や、動き方に対する意識は乏しく、先輩方の説明で勉強させてもらう立場でした。山笠に参加し始めた4~5年の頃は、山笠の昇手として自分が付く一番棒の話や道中の出来事の説明が、全く理解できませんでしたが、歴史のことに興味をもつて勉強し、一昨年から

通常では作ることのできるい、町内外の人間関係を作ることができます。そうして、いった時間と共にすること、家庭のことなどを聞かせて、年齢を問わず、幹事のことはあります。まだ知らないことがあります。それが、今後とも知識を蓄えていきたいと思います。前回の探訪の中で、以前ご案内させていただいたお客様とたまたま同じグループとなり、「今長谷さん、赤手拭になりんしゃつたときにはね。おめでとう。」と声をかけていたときには非常に光榮でした。

